

地域医療連携だより

やまびこ

発行日：平成 26 年 10 月 発行：高山赤十字病院 高山市天満町3丁目11番地 TEL 0577-32-1111 発行責任者：地域連携課

第4回 医療安全講演会開催 報告

平成 26 年 9 月 18 日 (木)

～医療安全対策における医薬品の適正使用推進～

岐阜大学医学部附属病院

臨床薬剤学教授・薬剤部長 伊藤 善規 先生

本講演では、がん治療および感染対策における安全対策について医薬品適正使用の観点から岐阜大学病院での取り組みを中心に紹介させていただきます。

当院では 2007 年に抗がん剤レジメン審査委員会を立ち上げ、隔月毎に開催し、現在では 273 レジメンが承認され、電子カルテに登録されています。登録レジメン実施率は、外来で 100%、入院で 85% です。外来化学療法室には 4 名の薬剤師を専任配置して外来化学療法室内に設置された 4 室の面談室にて患者さんと面談しています。患者数は月平均 360 名余りであり、全患者さんと面談し、治療内容や日常生活上の注意事項、副作用内容等についての説明、副作用症状の確認および対策のための処方支援を行っています。また、患者さんにはお薬手帳を渡し、レジメン内容、施行コース、検査値、副作用項目とその処置等を記入し、開局薬剤師と連携して安全確保に努めています。一方、感染対策では、医師、看護師、薬剤師からなるチームを結成し、抗菌薬注射剤が投与される全入院患者さんの処方内容のチェックを実施しています。この取り組みは 2009 年度から開始していますが、取り組み後は長期（2週間以上）投与の頻度減少、耐性菌（MRSA）の出現率低下、さらには、入院期間の短縮が見られています。また、バンコマイシンやテイコプラニンの投与設計についてはほぼ全例で実施しており、抗菌薬の有効性および安全性の確保に努めています。



目次

- | | |
|----------------------------|---------------------------------|
| ● 第4回 医療安全講演会開催報告 …… 1 | ● 新任医師の紹介 …… 5 |
| ● 第6回 飛騨地域緩和ケア研修会開催報告 …… 2 | ● 研修・講演・勉強会のご案内 …… 6 |
| ● スキンケア勉強会開催報告 …… 2 | ● 退任医師 …… 6 |
| ● 第16回 地域連携症例検討会報告 …… 3 | ● 平成26年度 第2回地域医療連携検討委員会の報告 …… 6 |
| ● 地域連携研究室・図書室利用のご案内 …… 4 | ● 編集後記 …… 6 |

第6回 飛騨地域緩和ケア研修会開催 報告

平成26年9月27日(土)・28日(日)

企画調整課長 登林 正規

平成26年9月27日(土)・28日(日)の2日間にわたり、高山赤十字病院診療本館3階大講堂にて、「第6回飛騨地域緩和ケア研修会」を開催しました。

当研修は、「地域がん診療連携拠点病院」である本院がその関連事業として、毎年、計画的に開催しているものです。

研修には、講師(ファシリテーター)として本院の医師4名の他、飛騨市民病院院長の黒木嘉人先生、久美愛厚生病院心療内科医長の安藤寿博先生を招聘し、医師9名・歯科医師1名・理学療法士1名・臨床心理士1名と4職種の合計12名が受講しました。

1日目は、「がん疼痛評価と治療(講義)」や「がん疼痛事例検討(ワークショップ)」を中心に研修を実施しました。

2日目は、症例別講義の他、「コミュニケーション(講義・ロールプレイ)」や「地域連携と治療・療養の場の選択(ワークショップ)」等の研修を実施しました。

2日間で延べ12時間の研修内容で、研修終了後、12名の受講生には棚橋院長より修了証書が授与されました。

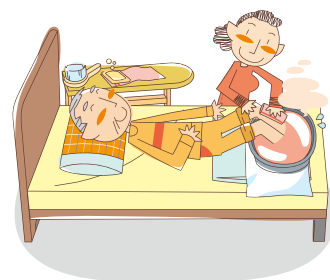


スキンケア勉強会開催 報告

平成26年9月13日(土)

皮膚・排泄ケア認定看護師 渡邊 洋子

9月13日(土)午前9時から午後4時まで、本院の講堂にて褥瘡対策チーム主催による、地域公開講座としてスキンケア勉強会を開催しました。参加者は、地域の訪問看護ステーションや老健施設など他施設からの参加が20名、本院の看護師が40名で計60名の参加がありました。内容は、3名の皮膚・排泄ケア認定看護師による、褥瘡予防とケア(リスクアセスメント、ポジショニング、褥瘡予防用品、褥瘡のアセスメントと管理、薬剤や創傷被覆材 など)と、フットケアなどスキンケア全般(胃瘻や失禁ケアなど脆弱な皮膚への対応)についての講義で、盛り沢山の内容となりましたが、最新の知識・技術の修得など、現場で生かせる内容としました。また、紙おむつのメーカーには、オムツの特徴・仕組みの説明や当て方の実演、また、体圧分散寝具のメーカーには、ポジショニングによる体圧の分布を視覚的に見ることが出来る実演をお願いし、実践に即したより解りやすい内容を企画しました。受講者からは、知りたかったことや疑問に思うことが理解できた。日頃のケアを見直す良い機会になった。新しい情報が得られ楽しかった。など好評でした。今後も年1回の開催を予定しています。是非、多くの方に参加して頂きたいと思います。

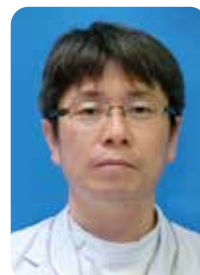


第16回 地域連携症例検討会 報告

平成 26 年 9 月 17 日 (水)

心原性脳塞栓症により 減圧開頭術を行った 1 例

脳神経外科副部長 野中 裕康



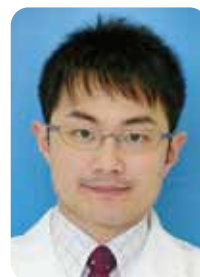
脳梗塞に対する治療が、最近少しずつ進歩しています。今回の発表は、そうした治療変化に関連した症例を紹介しつつ、最近の脳梗塞治療の話題を提供させて頂きました。具体的には、発症後急性期に対する脳血管内治療と、心原性脳塞栓症予防に対しての新規抗凝固薬 (NOAC) についてです。

まず、脳梗塞急性期脳血管内治療は 2010 年から保険適応となりました。当初の Penumbra システムでは血栓回収率が 24% でしたが、2014 年 7 月から適応が認められたステント型血栓回収機器 (当院でも採用) では 61% に改善しており、毎年次々に良いものが開発されている状態です。次に、NOAC は 2011 年から、ようやく本邦で処方できるようになり、当院でも、ワーファリンに迫る処方数となっています。当院でのワーファリンと NOAC との比較を行いました。脳梗塞の予防効果も、頭蓋内出血性合併症の発症率も、ワーファリンと比べ同等かそれ以上の効果を示唆する結果が出ています。

今後も、当院での脳卒中治療が、日本の最先端から遅れる事の無いよう、研鑽を積み重ねていく所存です。皆様からのご意見ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最近経験した 1 型糖尿病について

内科医師 高橋 佳大



糖尿病は、その患者数が 2012 年の本邦の調査において約 950 万人 (予備軍は 1,100 万人) まで増加しており、今や日常臨床においてごくありふれた疾患の一つとなっていることかと思えます。治療薬もインスリン製剤、SU 薬、グリニド薬、ビグアナイド薬、チアゾリジン薬、 α -グルコシダーゼ阻害薬、DPP-4 阻害薬に加え、2014 年より SGLT2 阻害薬も上市され、ますます治療の選択肢が広がってきております。

糖尿病患者さんはそのほとんどが 2 型糖尿病ですが、主に小児期に発症し、膵 β 細胞の障害によってインスリン分泌が欠乏する 1 型糖尿病の方もみえます。その病因は自己免疫の異常を基礎としたものであり、GAD 抗体、IAA、ICA などの自己抗体が陽性となることが知られています。また、緩徐進行 1 型糖尿病 (SPIDDM) と呼ばれる 30~50 歳程度で発症する症例も認められ、この場合、自己抗体陽性が持続しているにも関わらず、発症初期にはインスリン分泌が比較的保持されていることもあります。更には発症初期には自己抗体が陰性であったにも関わらず、経過観察中にこれが陽性化する症例も稀に認められます。

地域連携研究室・図書室利用のご案内

図書室司書 山崎 恵理子

当院は地域医療従事者の皆さまへ地域連携研究室・図書室を開放しております。

診療本館3階にありますので、ご来院の際にはぜひご利用ください。

事前のご連絡、予約などは必要ありません。ご来室いただき、

「地域連携研究室・図書室利用記録」に記入していただくことで、ご利用になれます。



図書室雑誌架



地域連携研究室

時間

地域連携研究室・図書室は
平日9時～17時まで

地域連携研究室には単行本が、図書室には雑誌が置いてあり平日9時～17時までご利用になれます。この時間に閲覧・貸出・複写・文献検索などができます。

雑誌

和雑誌・外国雑誌
があります

和雑誌は学会雑誌14誌・商業雑誌120誌（内看護雑誌30誌）、洋雑誌は28誌あり、その他に和・洋とも寄贈雑誌があります。2年分は閲覧室に、それ以前のは書庫に保存してあります。（保存期限内のもの）

文献検索

医療文献データベース
利用できます

図書室内のパソコンからは、医療文献データベース（例：医中誌Web、メディカルオンライン等）をご覧いただけます。ログインID/PWは図書室でご案内しておりますので、そちらをご覧ください。

借りる

雑誌・単行本の貸出
について

図書室カウンターの上の貸出票にご記入いただき、所定の箱に入れて下さい。お1人3冊まで2週間借りていただけます。また、返す際は返却BOXに入れていただくだけで結構です。

複写

コピー機・印刷機
も利用できます（有料）

図書室内でコピー機、印刷機の利用が可能です。ただし有料となりますので、使用後は、図書室の職員に利用枚数の申請をしていただき、1階の会計窓口にてお支払いください。

ご利用の際には、「地域連携研究室・図書室利用記録」がカウンターにありますので、ご記入いただいてのご利用をお願いします。



図書室内インターネットPC



図書室カウンター



お問合せ先：高山赤十字病院図書室
Tel.0577-32-1111（内線3361）

新任医師 の 紹介

- ① 診療科・職名
- ② 氏名
- ③ 専門分野
- ④ 専門医・認定医
- ⑤ 診療に対するモットー & 自己紹介 など



9月に1名、10月に3名の医師が赴任しましたので、ご紹介致します。



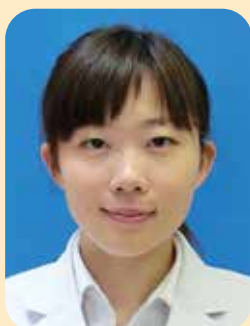
- ① 産婦人科 副部長
- ② **成川 希** (なりかわ のぞみ)
- ③ 産婦人科一般
- ④ 産婦人科専門医
- ⑤ 岐阜市、郡上市で勤務し、9月より生まれ故郷の高山に帰ってきました。市民の方々にとって、少しでも受診しやすい科となるよう努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



- ① 産婦人科
- ② **島岡 竜一** (しまおか りゅういち)
- ③ 産婦人科全般
- ⑤ 好きなものはかわいいもの、赤ちゃん、子供です。よろしくお願いいたします。



- ① 産婦人科
- ② **伴 真由子** (ばん まゆこ)
- ③ 産婦人科全般
- ⑤ 名古屋第一赤十字病院より来ました。新たな病院で少しでも多くのことを学ばせて頂きたいとおもいます。御指導のほどよろしくお願いいたします。



- ① 内科
- ② **鷺見 聡子** (すみ さとこ)
- ③ 消化器内科
- ⑤ 岐阜大学医学部附属病院から来ました3年目の鷺見と申します。大学病院以外の病院は初めてですので、至らない点が多いかと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

研修・講演・勉強会のご案内

- ・「第24回飛騨在宅酸素療法研究会」
H26年11月15日(土)14:00より 場所：飛騨・世界生活文化センター
 - ・「世界糖尿病デー 記念セミナー in 飛騨高山」
H26年11月16日(日)14:00より 場所：高山グリーンホテル
 - ・「第6回飛騨地域緩和ケアセミナー」
H26年12月6日(土)16:00より 場所：高山グリーンホテル
 - ・「化学療法に関する研修会」
H26年12月12日(金)17:30より 高山赤十字病院 本館3階 講堂
- ※詳細は、追ってご案内いたします。

退任医師

研 修 医	川 浦 僚	6月30日付	産婦人科医師	大塚 かおり	9月30日付
内 科 医 師	小 原 功輝	9月30日付	産婦人科医師	池田 沙矢子	9月30日付
内 科 医 師	加 藤 潤一	9月30日付	耳鼻咽喉科医師	小原 奈津子	9月30日付

平成26年度 第2回地域医療連携検討委員会の報告

標記委員を9月17日(水)に開催いたしました。

地域医療連携検討委員会は、地域医療機関等からの要請に対応し必要な支援を行えるよう定期的に開催される委員会です。

委員会では紹介率・逆紹介率、地域連携の現状などの業務実績や、地域医療支援病院の新基準への対応について報告をいたしました。

意見交換では、飛騨地域での在宅医療、地域包括ケア病棟について委員の方からご意見を頂きました。

編集後記

こんにちは。秋も終わりに近づき寒さが増してきました。そろそろストーブを準備されているご家庭もおりかと思えます。

今年も自然が猛威を振るい、私達に注意喚起しているように感じられます。これからは、ノロウィルスが活動する時期になってきました。ウィルスに負けないように、手洗い励行で予防し、また栄養補給・体力保持増進に心掛け、免疫力アップしていきたいですね。

手術室 小竹林 恵子



日本赤十字社

高山赤十字病院
地域連携課

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

〒506-8550 岐阜県高山市天満町3丁目11番地
TEL : 0577-35-1880 FAX : 0577-32-1165
メールアドレス byoshin@takayama.jrc.or.jp
ホームページ <http://www.takayama.jrc.or.jp/>